

資料 2

中期戦略プランについて



令和 8 年 9 月 1 7 日
全国健康保険協会静岡支部
企画総務部保健グループ

2. 中期戦略プランのイメージ

中期戦略プランのイメージ《2027～2029年度》

基本理念	協会けんぽの理念である「加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る」を掲げる。
基本方針	2040年を迎えても、協会けんぽが理念に基づき責任ある保険者運営を継続的に実施できること。特に、2035年までを計画期間としている健康増進法に基づく「健康日本21(第三次)」を意識した取組を実施できること。このため、2030年代までに4つの視点(「ネットワークと標準化」、「サービスを個別化」、「仕事は考えるもの」、「リレーションの資産化」)により取組を行うことを浸透させる。また、支部の自律的運営を促進する環境を整えるとともに、支部における関係機関との連携強化を支援する。
議論の進め方	2030年代前半を見据え、協会が今後どのような姿勢で、社会のために活動を行っていくか、組織の持続可能性を高めていくかについて、引き続き本部・支部で議論を行う。

戦略フレームワーク

重点戦略		施策(例)
健康づくり戦略	健診・保健指導及び事業所とのコラボヘルス、ヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進及び重症化予防を図る。	健診 / 保健指導 / 重症化予防 / 健康経営※の普及(コラボヘルス) / ヘルスリテラシーの向上 / 行政、保険者、健診機関、経営者等のステークホルダーとの強固な連携 / 医療費適正化の推進(適正受診、薬の適正使用) ※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。
コミュニケーション戦略	加入者・事業主に対して協会及び協会の事業に関する認知度の向上を図るとともに、事業協力への基礎となる共感形成に取り組む。また、積極的な協働を働きかける。	広報活動の強化/けんぽアプリによる加入者とのコミュニケーション強化 / 健康保険委員・事業主との連携強化 / 関係機関・団体とのネットワーク連携強化
業務改革・DX戦略	デジタル技術を最大限に活用し、業務プロセスの抜本的な変革及びサービス水準の高度化を図る。	業務プロセスの標準化・効率化の推進 / サービス水準の向上(相談体制の強化等) / データ活用の高度化・データ分析基盤強化
中長期財政戦略	中長期視点に基づき、安定かつ持続可能な財政運営を実施する。将来のリスクを予見し、適正な保険料率設定と安定的な財政基盤の構築に努める	適正な保険料率の設定 / 準備金の在り方・長期運用の検討
組織・人材戦略	戦略の確実な実現のため、全職員が戦略策定の議論に参画する。また、戦略的な人材育成を行い、最適な人員配置等を構築する。併せて、リスク管理を確実に行うことで事業の継続性を確保し、加入者の信頼を確かなものにする。	本部・支部間のビジョン共有と浸透 / 全員が活躍できる職場環境づくりの構築 / 戦略的な人員配置・人材確保/ 人材育成の強化 / リスク管理及びコンプライアンスの徹底

※支部の健康課題に対する自律的な運営を推進するため、各支部は各支部の地域健康課題や特性を把握したうえで、中期戦略プランを指針とし、新たに「支部戦略プラン」を策定する。

	課題
1	喫煙率の低下の横ばい ・男性：R4 39.3% → R5 39.2% → R6 39.2% ・女性：R4 14.1% → R5 14.5% → R6 14.4%
2	男性のLDLコレステロール平均値が減少しているが、協会平均より高い ・静岡男性：R4 125.00mg/dl → R5 124.55mg/dl → R6 124.46mg/dl ・協会男性：R4 124.35mg/dl → R5 123.94mg/dl → R6 123.88mg/dl R7.4～R8.1月健診受診者で、一次勧奨対象者（※）のうち、LDLコレステロールの値が180mg/dl以上のみ者の割合は、40.78%で、協会平均(38.52%) よりも2%以上高い（全国でワースト7位）
3	毎日1時間以上身体活動を行わないもしくは身体活動がない者の割合が、協会平均より高い ・静岡男性：R4 59.2% → R5 57.7% → R6 57.1% ・静岡女性：R4 63.8% → R5 62.5% → R6 61.5% ・協会男性：R4 58.7% → R5 57.3% → R6 55.8% ・協会女性：R4 61.7% → R5 60.4% → R6 58.8%
4	毎日飲酒する者が増加している ・静岡男性：R4 32.1% → R5 30.8% → R6 32.7% ・静岡女性：R4 12.9% → R5 12.6% → R6 14.4% ・協会男性：R4 36.7% → R5 35.6% → R6 36.5% ・協会女性：R4 16.7% → R5 16.5% → R6 17.6% 毎日2合以上飲酒する者が増加している ・静岡男性：R4 24.4% → R5 24.9% → R6 26.9% ・静岡女性：R4 7.8% → R5 8.3% → R6 9.6% ・協会男性：R4 23.3% → R5 23.7% → R6 26.0% ・協会女性：R4 7.8% → R5 8.3% → R6 9.9%
5	睡眠不十分者が多い ・静岡男性：R4 39.4% → R5 41.1% → R6 41.8% ・静岡女性：R4 34.7% → R5 35.7% → R6 36.2% ・協会男性：R4 36.4% → R5 37.5% → R6 38.0% ・協会女性：R4 41.8% → R5 43.2% → R6 43.9%

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

2. 静岡支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

静岡支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

- ・収縮期血圧および拡張期血圧の平均値を1mmHg低下させる（直近の平均値から低下させる
2022収縮期：男性127.01mmHg 女性120.91mmHg 2022拡張期：男性79.63mmHg 女性73.23mmHg）

II) 戦略概要

- ・二次勧奨対象者の未治療者に対しては、健診当日に昨年度の健診結果等を元に、受診確認及び受診勧奨を行うことで、未治療者割合を減少させる。
- ・健診当日の禁煙支援はABR（短時間支援方式）で喫煙者に対し、禁煙パンフと禁煙外来一覧を問診時等に手渡すことで、禁煙への意識を高め、禁煙外来に結び付ける。
- ・血圧手帳を普及して、自宅等で血圧測定の管理等に対するポピュレーションアプローチの実施。
- ・日常生活に運動を取り入れられるように、広報等でのポピュレーションアプローチの実施。
- ・睡眠の重要性と飲酒と睡眠の関係性の周知。

2. 静岡支部 健康づくり戦略（例）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

- ・運動習慣要改善者を減らすために、市町村のアプリを使用し、歩数を競わせるなど

[健康経営の推進]

- ・50人未満の事業所を対象とし、小規模事業所が健康経営を学び、実際取り組めるようなフォローの実施。

[健診の拡充]

- ・事業所規模1－9人の事業所に対し、夫婦や家族で健診受診による生活習慣病予防健診受診率等向上の取り組み

[特定保健指導の量・質の向上]

- ・特定保健指導岩盤層対策
- ・人間ドック健診受託による特定保健指導実施のための委託機関フォロー

[重症化予防の拡充]

- ・健診当日の未治療者への受診勧奨

[ヘルスリテラシーの向上]

- ・けんぽ便りの紙面を利用し、毎月健康についての正しい情報を周知する。
- ・メタボ予備群者などへのアプローチ

2. 静岡支部 健康づくり戦略（例）

Ⅲ）3年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

- ・地域医療構想会議等で、積極的に発言していく

[医療費の適正化]

- ・医療費についての正しい情報をけんぽ便り等で周知する。特に高血圧の放置など、受診が必要な方は必ず適性に医院を受診する。